



Watanabe
Oyster
Laboratory

企業理念

人間性豊かな
健康文化の創造で
人々の幸せに貢献いたします
for Happiness



取締役会長

渡辺 富雄

Tomio Watanabe

大正3年2月10日生まれ

カキ肉エキス 開発者

健康は万人の願いであり、生命の尊厳は人類の根本テーマである。生命存続のもととなる食糧。私は戦時中、いつでも、どこでも携帯でき、食することのできる栄養価の高いものはないかと思いを巡らせていました。そして牡蠣にたどり着くことができました。

日本では古来より、武田信玄などの武将が牡蠣の愛好家であり、西洋では“海のミルク”、東洋では“海の宝”などと呼ばれ、その栄養の豊富さと味覚が愛されてきました。また、中国明代の李時珍著『本草綱目』にも牡蠣肉の滋養強化作用について記載されており、中国においても愛用されてきました。

しかし、牡蠣には食べられない季節があります。そこで、いつでも栄養豊富な牡蠣を利用するための加工開発に着手しました。そして、30余年間にわたり、研究開発を続け、牡蠣の性質を十分に活かし、豊富な有効栄養成分を適確に抽出濃縮、固形化に成功。日本で初の「カキ肉エキス」として世におくり出すことができました(1967年)。

2004年7月、北京大学病院より、日本で初のカキ肉エキス錠の開発に成功、人々の健康に貢献した功績を認められ「健康栄誉賞」をいただきました。



代表取締役社長

渡辺 貢

Mitsugu Watanabe

北京大学病院 学術顧問
世界かき学会 日本支部長/運営委員
一般財団法人かき研究所 評議員
博士(医学) 北海道大学
博士(畜産学) 東京農業大学

【受賞】

北京大学教育貢献賞
日本睡眠学会ベストプレゼンテーション賞

創業の想い、企業理念

私は、学生時代に、人道性の高い教育、文化が人類の繁栄と平和をもたらすことを知り、また、研究者であり、実業家であるローマクラブの設立者ベッチェイ博士が、その著書『成長の限界』の中で、資源の枯渇、食糧不足などに警鐘を鳴らし、世界に影響力を発揮していることも知りました。

私も、微力ながら自分の専門である栄養生理学、予防医学の分野で研究成果を収め、優秀な研究者と連携を組み、「人間性豊かな健康文化の開拓者となり、現実社会で人々の幸せに貢献したい。」と、深く決意いたしました。これが、私の起業の原点であり、企業理念「人間性豊かな健康文化の創造で、人々の幸せに貢献いたします」に結実いたしました。誠に、有難いことに、この企業理念と当研究所の実践は、関係する大学、関係企業、生活者の皆様のご理解をいただき、共鳴と感動のネットワークが着実に拡大、深化しております。心より感謝の意を述べるものであります。

Watanabe Oyster Laboratory

企業理念を根本に
確実に発展
設立以来、健全な
成長曲線売上アップ

渡辺オイスター研究所は「人間性豊かな健康文化の創造で人々の幸せに貢献いたします」との企業理念の実現化のために、3つの特徴を定め、その方針を着実に実践してまいりました。その結果、社会より信頼を得て、設立以来、順調に成長曲線を描いてきました。東京都八王子市で活躍する優良製造企業25社に選ばれました。

01
Quality

抜群の
高品質性

02
Science

研究開発の
充実

WOL
3つの特徴

03
Counseling

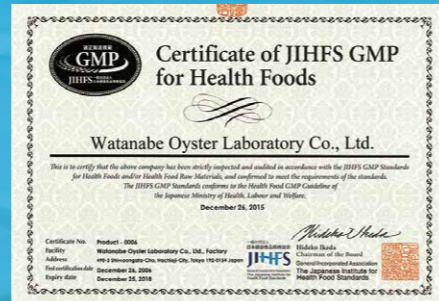
医薬業界のみに
流通

01 抜群の 高品質性 Quality



健康食品GMP 認証工場で製造 衛生・安全・最先端の 自社工場システム

健康食品GMP(Good Manufacturing Practice=適正製造規範)とは、全工程を通じて、人為的な誤り、汚染および品質低下を防止し、一定の品質の確保を図るためのシステム。健康食品専門メーカーでは日本全国で28社のみ、東京都では当社を含め3社のみが健康食品GMP認定を取得しています(2016年4月現在)。



品質方針

一人一人の
責任と使命感で
高い安全性と
高品質の製品を
常に創造し、
人々の幸せに
貢献します。

Quality

抜群の
高品質性

品質に心をこめて



① 特許を取得した独自の製造工程

当社製品は、天然ミネラル・ビタミンなどの栄養素の宝庫である春の新鮮な国産生ガキを原料から吟味し、製造特許取得の特殊製法でカキ肉中の微量元素などの栄養素を有効的に抽出・濃縮した日本唯一の活性型カキ肉エキスです。



製造特許

日本初のカキ肉ダブル抽出法 製造特許 第3391642号、第3391643号
カキ肉の減圧抽出濃縮法 2010年に日本・アメリカ、2012年にフランス・イギリスで特許取得。

② 厳しい品質管理工程

渡辺オイスター研究所は、生活者の方に安心・安全の製品をお届けする為に、厳しい品質試験を行っています。

錠剤の性状(外観、匂い、異物の混入等)に異常が無い事を確認した後、錠剤の重量、水分、溶解時間、硬さが適正であるかの物性試験や生菌試験などを行います。

さらに、パッケージやラベル等、製品に関わる資材に異物の混入がないか、見た目に異常がないかを確認。全ての試験で、製品に異常がないことを確認した後、充填・箱詰めします。



①硬度試験 ②崩壊試験 ③水分試験 ④生菌試験

Quality

抜群の
高品質性

3 徹底したクリーンな 生産工程

健康食品GMP基準に基づき、温度・湿度を徹底管理したクリーンルームにて作業を行っています。クリーンルームに入る前には、防塵服に着替え、ほこりが入らないようエアシャワーを浴びます。※衛生管理の為、クリーンルームには加圧設備を施しています。

カキ肉エキスの錠剤は一粒一粒丁寧に充填され、充填の済んだ製品は1本1本、手に取りながら目視検査を行います。

全ての検査項目で厳しい合格基準を満たした製品のみをパッケージ詰めし、出荷します。



①X線検査機 ②目視検査

4 丁寧な 物流管理工程

一つ一つの製品を丁寧に目視にて検品をし、検品された製品は手作業で一本ずつ心をこめて大切に梱包し、全国各地のお取扱いの薬局・薬店・医院へ発送します。



①検品 ②梱包

5 相談(カウンセリング) 薬局・薬店で販売

お取扱いの薬局・薬店にて健康についてのカウンセリングをきちんと受けていただいた上で、製品を販売しております。



製品ラインナップ

当社製品は、現代人に不足しがちな鉄、亜鉛、セレン、クロム、コバルトなどの必須微量元素が天然ミネラルとして、また9種のビタミン、さらに新規の抗酸化物質などがバランスよく含まれたすぐれた栄養補助食品です。



ワタナベ活性型オイスター 粒タイプ



ビン製品 600粒、300粒、160粒、85粒

分包製品 1箱30包(1包6粒入り)

お子様、妊娠授乳期の方からご年配の方まで皆様の健康増進の栄養補助に安心してご愛用いただけます。



ワタナベ活性型オイスター 顆粒タイプ

(1包あたり オイスター粒3粒分)

粒の苦手なお子様や女性、胃腸の弱い方におすすめです。顆粒タイプのカキ肉エキスは当社でのみの製造です。



ワタナベ活性型オイスタードリンク(皇寿ドリンク)

(低分子カキ肉エキス「皇寿」含有)

ノンカフェイン・ノンアルコールで、お子様からご年配の方まで安心してご愛用いただけます。



ワタナベ活性型オイスターゼリー

(1包あたり オイスター粒3粒分、オイスタードリンク1/4本分)

錠剤が飲みにくかった方や液剤でむせやすかった方が手軽に食べられ、持ち運びやすくなりました。

国内医療機関によるヒト試験で安全性を確認

- ✓成分分析において安全性を確認
- ✓長期摂取における安全性を確認
- ✓多量摂取における安全性を確認

S02 研究開発の Science 充実

当社は人間性豊かな健康文化の創造を企業理念で掲げております。
文化創造には、学問が必要不可欠との観点より、学術を重視した展開を行っています。



Science

研究開発の
充実

世界に誇るカキ機能性研究



時代を拓く研究開発を推進

当研究所は、ヒトの健康に対するカキ肉の有用性を長年研究し、カキ肉エキスの機能性を明らかにしてきました。

健康食品GMP基準に基づく品質管理検査はもちろんのこと、カキ肉中からの新規抗酸化物質の発見などの研究開発に成功を収めております。研究成果は、多数の特許申請に結びついております。

保有特許

減圧低温加熱濃縮を用いたカキ肉エキスの製造方法 特許番号4553788
連続遠心分離装置を使用したカキ肉エキスの製造方法 特許番号4697978
出願特許 多数



総合分析室

総合分析室では、HPLCやLC-MS/MS、プレートリーダー、そして、原子吸光分光光度計などの研究機器を用いて、天然物由来物質の分離と定量分析などを行っております。



①LC-MS/MS ②原子吸光分光光度計 ③HPLC ④プレートリーダー(マルチラベルリーダー)

研究製品開発

渡辺富雄会長が開発したカキ肉エキスは原点であり、その後の研究開発によって付加価値が増幅し進化しています。当研究所は、マガキ軟体部から活性型ビタミンDを発見し、ワタナベ活性型オイスターを開発しました。さらに、2011年に両親媒性で低分子の新規抗酸化物質(E6)をマガキ軟体部から発見し、当社の食品は、一層の栄養機能性の付加価値を増しました。

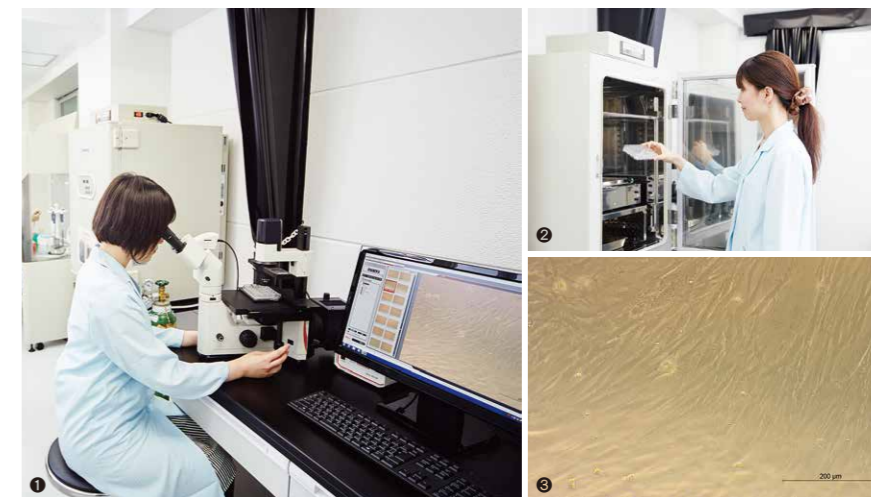
総合分析室をはじめとする研究システムは、総合的に人々の健康に貢献するための製品開発研究も行っております。

細胞培養室

血液脳関門モデルを用いたカキ肉由来の新規抗酸化物質の脳内移行性の研究や細胞レベルでの研究を行っております。



①位相差顕微鏡 ②CO₂インキュベーター
③血液脳関門(アストロサイト)



オイスタールーム

カキの生態と生理作用の研究を行っております。



①カキ飼育



品質管理室

生活者の方に安心・安全の製品をお届けするために、生菌検査をはじめとした試験を行い、品質を管理しております。



①②硬度試験 ③崩壊試験
④成分分析 ⑤生菌試験



6つの大学との共同研究

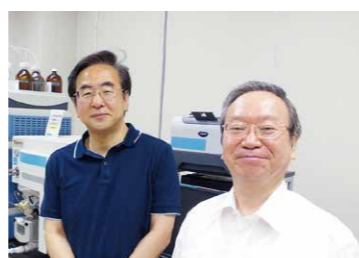
古今東西、文化交流は、相互の学術と文化の興隆を引き起こしてきました。当研究所は、人々の健康と幸福に貢献するに値する研究をすすめるために、志を同じくする一流の研究パートナーと時代を拓く共同研究を行ってきました。

北京大学病院とはカキ肉エキスのヒトに対する臨床研究について、北海道大学とは新規抗酸化物質について、筑波大学とは、新規抗酸化物質の脳と睡眠に対する研究をすすめ、東北大学とは、カキの生態と生理作用の研究を、静岡県立大学とは亜鉛不足とうつ状態との関連性の研究を、そして、創価大学とは、環境問題など地球規模課題の解決のための微細藻類の研究を行っています。その研究内容は、高い評価を受け、レベルの高い学術雑誌に多数掲載されました。



北海道大学 | 大学院保健科学研究所

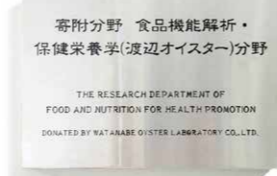
北海道大学との共同研究により、両親媒性（水溶性かつ脂溶性）の新規抗酸化物質（E6）の同定・合成に成功し、その研究成果はインパクトファクターの高い科学専門雑誌「Food chemistry(2012)」「Journal of agricultural and food chemistry(2012)」「Food chemistry(2014)」「Journal of functional Foods (2016)」で発表されています。



脂質代謝研究のトップランナーである
千葉教授(北海道大学)

千葉仁志 博士(医学)

北海道大学大学院 保健科学研究所 教授
健康イノベーションセンター センター長
日本未病システム学会 理事
日本医用マズベクトル学会 理事
日本臨床化学会 評議員
【研究分野】脂質代謝学、バイオマーカー



食品機能解析・保健栄養学
(渡辺オイスター)分野

筑波大学 | 世界トップレベル研究拠点プログラム 国際統合睡眠医科学研究機構

「第39回日本睡眠学会 ベストプレゼンテーション賞」を受賞

筑波大学との共同研究「マガキ軟体部エキスから同定された新規抗酸化物質(E6)の血液脳関門移行性と同物質含有分画のヒト睡眠に与える影響」で、両親媒性の抗酸化物質E6の脳移行性をin vitroとin vivoで証明し、ヒト睡眠時脳波測定にて中途覚醒抑制機能を検知し、日本睡眠学会で同賞を受賞しました。次いで、E6含有分画の脳内酸化ストレス軽減作用と海馬グルココルチコイド受容体の増加によるストレス緩和作用が報告されました。(アジア睡眠学会2012、アジア睡眠学会2014、世界カキ学会2015、Medical Science Digest 2015)



睡眠メカニズム研究の世界的権威である裏出教授と
第8回アジア睡眠学会(インド)にて研究発表

裏出良博 医学博士

筑波大学 世界トップレベル研究拠点プログラム
国際統合睡眠医科学研究機構(WPI-IHS) 教授
日本睡眠学会 理事
日本応用酵素協会 評議員
【研究分野】分子生物学



創価大学 | 理工学部 共生創造理工学科

地域社会の貧困解決や環境問題低減に貢献する微細藻類の研究を行います。この研究は、環境・エネルギー問題などの地球規模課題解決に向けたSATREPS(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)に関与し、マレーシアのプトラ大学、トレンガヌ大学、セランゴール大学と共同で研究を行っています。

戸田龍樹 農学博士

創価大学大学院 工学研究科長・教授
【研究分野】
修復生態学、浮遊生物学、生態工学



高橋計介 博士(農学)

東北大学大学院 農学研究科 准教授
一般財団法人 かき研究所 所長・常務理事
【研究分野】水産学



静岡県立大学 | 薬学部 統合生理学分野

低亜鉛食飼育により誘発されるストレス過敏性やうつ様行動、ストレスホルモンの過剰分泌と、亜鉛補給によるうつ様行動の回復現象を観察し、インパクトファクター3.6(2010)の世界的な神経科学雑誌「Neurochemistry International (2010)」に発表されました。

武田厚司 薬学博士

静岡県立大学薬学部・大学院薬学研究科
(統合生理学分野)教授
【研究分野】神経科学、生物無機化学、放射化学



The International Oyster Symposium (IOS) 国際学会にて発表

2013年12月 ベトナム ホーチミンシティ サイゴンコンベンションセンターで開催された5th IOSでは医学博士である渡辺社長はヒトの健康に対するカキ肉の機能性研究の第一人者として基調講演を行い、さらに国内外のPost Harvest分野の研究者が発表を行うセッションの座長を務めました。その他、当社より3題のポスター発表を行い、世界の若手研究者を代表して当社研究員の三木が若手研究者賞を受賞。また、同学会の席上、渡辺社長が世界かき学会日本支部長に就任、副支部長には東北大学の高橋計介准教授が就任されました。

2015年10月 アメリカ マサチューセッツ州ケープコッド ウッズホール海洋研究所で開催された6th IOSでは渡辺社長、研究員の福嶋、三木、本田が口頭発表を行いました。当社研究発表に対し、参加者からは「渡辺オイスター研究所の発表には、渡辺社長を中心とした一連の流れがあり、研究レベルの高さがあらわれていました。」との声を頂戴しました。さらに、当社研究員の福嶋が世界の若手研究者を代表して、「WOS若手研究者賞 First Prize」を受賞しました。



①5th IOS基調講演(2013) ②5th IOSでの三木「若手研究者賞」受賞(2013) ③6th IOS基調講演(2015)
④6th IOSでの福嶋「WOS若手研究者賞First Prize」受賞(2015)

第39回日本睡眠学会にて 「ベストプレゼンテーション賞」受賞

2014年7月3日～4日、日本睡眠学会第39回定期学術集会在開催されました。京都大学医学研究科、九州大学大学院医学研究院、東京医科歯科大学、慶応大学医学部をはじめとする研究機関による発表演題346題の中から、ベストプレゼンテーション賞6題が選出され、筑波大学と共同で行った渡辺社長の演題がその1題に選ばれました。

受賞に対し、国内外の研究機関より「今までの素晴らしい研究が評価された結果」等の多くの賞賛が寄せられました。



受賞大学および受賞医療機関
(順不同)

- ・名古屋大学大学院
- ・東京慈恵医科大学
- ・地域医療機構滋賀病院
- ・東北大学大学院
- ・株式会社渡辺オイスター研究所
- ・Sleep well株式会社

学術論文

Oyster extracts attenuate pathological changes in non-alcoholic steatohepatitis (NASH) mouse model.

Watanabe M, Fuda H, Okabe H, Joko S, Miura Y, Hui SP, Yimin, Hamaoka N, Miki E, Chiba H.
Journal of Functional Foods: 20 2016

Anti-apoptotic effects of novel phenolic antioxidant isolated from the Pacific oyster (*Crassostrea gigas*) on cultured human hepatocytes under oxidative stress.

Fuda H, Watanabe M, Hui SP, Joko S, Okabe H, Jin S, Takeda S, Miki E, Watanabe T, Chiba H.
Food Chemistry: 176 2015

マガキ軟体部エキスから同定された新規抗酸化物質

3,5-dihydroxy-4-methoxybenzyl alcohol : 脳移行性とヒトの睡眠に与える影響
渡辺 貢, 福嶋和代, 三木恵美子, 有竹浩介, 裏出良博.
Medical Science Digest: 41 2015

健常男女成人におけるカキ肉エキス含有飲料

「ワタナベオイスタードリンク」の安全性評価
渡辺 貢, 滝田いづみ, 割田知美, 鎮目 学, 山本哲郎, 山口英世.
薬理と治療: 43(7) 2015

健常男女成人におけるカキ肉エキス含有錠型食品

「ワタナベ活性型オイスター」の安全性評価
渡辺 貢, 渡辺孝之, 上間美穂, 鎮目 学, 山本哲郎, 山本英世.
薬理と治療: 43(6) 2015

マガキ(*Crassostrea gigas*)軟体部エキスの抗酸化作用と

新規抗酸化物質に関する研究
渡辺 貢
機能性食品素材のためのヒト評価, 第1版, CMC出版, 2013

A phenolic antioxidant from the Pacific oyster (*Crassostrea gigas*) inhibits oxidation of cultured human hepatocytes mediated by diphenyl-1-pyrenylphosphine.

Watanabe M, Fuda H, Jin S, Sakurai T, Hui SP, Takeda S, Watanabe T, Koike T, Chiba H.
Food Chemistry: 134(4) 2012

Isolation and characterization of a phenolic antioxidant from the Pacific oyster (*Crassostrea gigas*).

Watanabe M, Fuda H, Jin S, Sakurai T, Ohkawa F, Hui SP, Takeda S, Watanabe T, Koike T, Chiba H.
Journal of Agricultural and Food Chemistry: 60(3) 2012

勤労者を対象としたカキ肉エキス含有食品のストレス、疲労、睡眠の質

およびQOLに対する効果の検討
渡辺 貢, 山本哲郎, 黄 長華, 岡村尚昌, 津田 彰.
健康支援: 14(1) 2012

マガキ (*Crassostrea gigas*) より発見された新規抗酸化物質の

精製, 同定, 化学合成と抗酸化能に関する研究.
渡辺 貢
北海道医学雑誌: 86(6) 2011

Susceptibility to stress in young rats after 2-week zinc deprivation.

Watanabe M, Tamano H, Kikuchi T, Takeda A.
Neurochemistry International: 56(3) 2010

低亜鉛食ラットにおけるうつ様行動の増加とその回復

渡辺 貢, 玉野春南, 菊池利典, 青山美子, 武田厚司.
Biomedical Research on Trace Elements: 20(2) 2009

他多数



北京大学病院との学術交流

渡辺貢社長、北京大学より教育貢献賞を拝受

1998年、北京大学教育貢献賞授与式が北京大学にて行われ、北京大学馬樹孚副学長から渡辺貢社長へ感謝状と盾が授与されました。同賞は、北京大学への教育貢献に対する深い感謝と友誼の証です。当社も、北京大学への未来にわたる深い友誼を心より誓いました。



渡辺貢社長が北京大学病院学術顧問に就任

「中国医学と西洋医学の結合・止揚は、生命全体をより深く把握し、より良い健康生活の創造に多大な貢献をもたらす」との理念のもと、当社は中国医学と西洋医学の結合の先駆的役割を果たしている中国・北京大学病院と学術交流を行ってまいりました。また最先端の研究を行う国内医療機関でエビデンスの構築と蓄積を真摯に行っています。

当社と北京大学病院は、1991年より共同研究を行い、また6篇の共同論文も発表してきました。これらの学術交流活動が評価を受け、渡辺貢社長が2000年12月に北京大学病院の学術顧問(牡蠣研究)、2006年、2010年、2014年に保健医学学術顧問に招聘されました。



カキ肉エキスのパイオニア

渡辺富雄会長を北京大学病院が日本初のカキ肉エキス錠開発者として顕彰

2004年7月、北京大学病院院長御一行来日ワタナベオイスター特別講演会の席上、渡辺富雄会長に対し、北京大学病院より“健康栄誉賞”が贈られました。

「日本で初のカキ肉エキス錠の開発に成功し、人々の健康に貢献した功績を称える」との内容で、60年以上に渡るカキの研究、また北京大学病院との長年の交流に対し、張宏印院長より感謝の意とともに証書が授与されました。



中日保健医学学術交流会

2010年8月、新しく落成された北京大学病院において、北京大学病院張宏印院長、北京大学病院王慧芳前院長出席のもと「第2回中日保健医学学術交流会」を開催。この席上、張院長を当社の学術顧問に招聘し、今後の学術交流のさらなる発展を誓い合いました。王前院長には、長年の当社へのご尽力に対し感謝の意を込めて、感謝状をお贈りさせていただきました。



中日保健医学学術交流会に全社員で出席

桜花の絆 新北京大学病院落成を祝し、当社との永年にわたる友誼の証と感謝の意を込めて、桜の木を15本植樹・贈呈。同日に桜植樹記念碑の除幕式が開催されました。北京大学病院から当社への御礼として桜植樹記念碑を建てていただき、記念碑には張院長直筆で当社との永遠の友誼の証が刻まれています。



中国語

「桜花長開、友誼永存」

日本渡辺牡蠣研究所贈送北京大学病院桜花樹記念
2010年8月27日

日本語

「桜花の如く、友誼は永遠なり」

日本渡辺オイスター研究所より北京大学病院に贈呈された桜の植樹記念として
2010年8月27日

C03 医薬業界のみに Counseling 流通

当社と共に進む
医薬業界
流通マップ



学術性の高い
カウンセリングを重視！
流通は医薬業界のみ

当社製品は、全国の医薬業界のみに流通しています。お取扱店の先生方の安心と充実のカウンセリングのため、当社は設立以来、拠点方式を守っており、その実績が信頼を呼んでいます。当社製品は、北海道から沖縄にいたる日本全国で、卸に在庫をおいていません。

Counseling

医薬業界のみに
流通

全国で薬局・薬店を対象に 活発な講演会を開催

イタリアのルネッサンス、中国唐代の長安のように、「文化の交流があるところ必ず栄えていく」ことは、古今東西の歴史を見ても明らかです。渡辺オイスター研究所では、「新しい健康文化の創造」を目指して、活発に交流会やセミナーを開催しています。

最新の学術情報の提供の場として、毎年大小様々なセミナーを全国各地にて計100回以上開催しております。年1回のペースで、全道(北海道)大会、東北大会、関東甲信越大会、名古屋大会、九州・中国・四国大会を各エリアにて盛大に開催しております。



「カウンセラーの集い」 ～現場の知恵が飛び交う情報交換会～

地域の健康カウンセラーである薬局・薬店の先生方が集まり、活発に意見交換しています。この場で新しいアイデア・知恵が生まれ、地域医療機関としての発展の力となっています。



店頭での カウンセリング



心の通った医療

当社はひとりひとりに合った「心の通った医療」こそが、幸せな健康文化の実現に繋がるとの信念により、医薬業界の専門家による確かなカウンセリングを大変に重視しております。

そのため、当社製品は全国の薬局、薬店、医院の先生方のカウンセリングの後に販売する形態を創業以来、堅持してまいりました。

それは、製品を正しく適切な方法でご愛用していただくだけでなく、地域の生活者おひとりおひとりの心とからだの健康のお悩みに寄り添い、生活者の健康づくりのお役にたつためであります。



Vision 今後の展望

世界の繁栄と平和に貢献するためには、世界トップレベルのカキ研究を行うことが、必要であると思っております。



Vision 01 研究施設の充実

第一に、カキの栄養機能性の研究をさらに追求し、研究施設の充実を図っていきます。また、各大学との共同研究をさらに推進してまいります。



どこまでも「人間性豊かな健康文化の創造」
それは、「人々の幸せ」のために
私たちの思い描く未来は
この企業理念から
決して外れることはありません

Vision 02 グローバル展開

第二に世界中の人々の健康のために、JETROの支援を受けているマレーシアへの進出をはじめとして、グローバル展開を図ります。

Vision 03 社会貢献活動の拡大

第三に当社の参画が決定している国家プロジェクトである地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム「SATREPS」を推進し、環境問題、貧困問題等の解決に国内及びマレーシアの大学と共に取り組み社会貢献活動を広げていきます。

会社概要

名称(商号)	株式会社渡辺オイスター研究所
創業(設立)	1983年4月
代表者	代表取締役社長 渡辺 貢
従業員数	72名(正社員)
資本金	8000万円
事業内容	栄養補助食品製造販売、牡蠣研究学術交流
事業所	東京本社
所在地	192-0154 東京都八王子市下恩方町490-3
連絡先	TEL 042-651-8118 FAX 042-651-8123

主要取引先	株式会社モロオ 株式会社バイタルネット アルフレッサヘルスケア株式会社 中北薬品株式会社 株式会社リードヘルスケア 中澤氏家薬業株式会社 株式会社PALTAC
-------	---

(敬称略:順不同) 2016年4月現在

アクセスマップ

- ①JR西八王子駅北口より路線バス(約24分)
西東京バス4番のりば
「恩方ターミナル」行きに乗車
バス停「上野原」で下車徒歩1分
- ②JR高尾駅北口より路線バス(約20分)
西東京バス1番のりば
「恩方ターミナル」または「美山町」行きに乗車
バス停「恩方ターミナル」で下車徒歩1分
- ③JR八王子駅北口より路線バス(約35分)
西東京バス9番のりば
「恩方ターミナル」行きに乗車
バス停「恩方ターミナル」で下車徒歩1分
※①～③の時刻表はバスホームページをご参照下さい。
URL <http://www.bus-navi.com/>
- ④圏央道より自動車
中央自動車道方面、八王子西インター出口から2分
※八王子西インターは、中央道方面からの降り口と中央道方面への乗り口のみとなります。

